



奉納・賞賛資金(一万元以上・敬称略)

平成二十三年九月一日、平成二十四年一月三十一日

Table listing donors and their amounts for the '奉納' section. Includes names like 株式会社 高野土地, 株式会社 荒井清一郎, etc.

第三十九回武蔵御嶽神社奉納俳句入選作品

特選 一席 神見ゆるまで抱き上げて七五三 飯能市 森泉 双輪

二席 薪神楽果て邯鄲の闇帰る 杉並区 谷 けい
三席 山の日の山へ還りて大夕焼 多摩市 河田 公枝
四席 天と地をつなぐ大杉山笑ふ 国立市 佐藤 風
五席 月待ちて始まる民話御岳山 松戸市 林 民江

佳作 秀逸 夏霧や霊山深き杉の息多摩市 橋本 功一郎
神楽舞う稚子輝くや十三夜 羽村市 杉原 博美
一服の鉄柄に止まる赤とんぼ 多摩市 萩生田 芳孝

むささびの親子飛び立つ若葉かな 所沢市 遠藤 康雄
邯鄲聞くあたたかきもの飲むやうに 相模原市 佐分 靖子
初夢は神も宿する御師の宿 あきる野市 内山 光寿

一掴み妻この時と鬼は外 日の出町 渡邊 敏雄
大樫洞の暗闇 秋の風 さいたま市 土肥 寛子
山頭火言葉かさねる青い山 青森県むつ市 吉田 章子

応募総数 四九八句
一日中闇がうろつき 峡冬至 選者吟

J Aグループ石段奉納竣工式



J A東京グループ様の多大なる御協賛をいただき、旧事務所下に素晴らしい石段を竣工させていただくことが出来たこと、厚く御礼申し上げます。

石段のご奉納を頂きました。ご信心の念に深く感謝致します。今後とも皆様方のご協賛をお願い申し上げます。

奉納者 講元 田中 大代
講員数 13名
奉納石段 五段
主幹司宮 天野 光紘
平成23年10月11日完成祝い
同日 太々神楽奏上

奉納者 はらしま会
会長 加藤 亮一
講員数 163名(21講)
奉納石段 9段
主幹司宮 原島 征四郎
平成23年 4月17日竣工

会長 加藤亮一 初代会長 横山新太郎 二代目会長 須崎卓司
名譽会長 石井朋男
小杉講 市ノ坪講 下落合講 本町田講 上高田講 宮内講
大蔵講 瓜生講 三社講 平間講 中丸子講 中原講 神地講
二子講 昭栄講 西落合講 愛宕山講 御岳山曉

奉納俳句選評

特選一席 神見ゆるまで抱き上げて七五三 森泉 双輪

お宮参りする七五三の情景が、この一句で総て表現され尽くされており、小さい子供を抱きあげて、「ほーら、ののさまが見えるでしょう。お手を合わせて拜んで下さい。」五七調の美しいリズムと重なって、句意は一段と盛り上がり、傑出した作品となりました。

特選四席 天と地をつなぐ大杉山笑ふ 佐藤 風

この大杉、恐らく二、三千年も経ったご神木。山笑ふ、は、深い冬の眠りから醒め春の到を示唆する。春の季語。正に天と地を繋ぐこの巨木、春となった天の心が、地に伝えられ、目覚めた地の躍動感が天に震動する。斯く天地相合を果す大杉の宇宙感が詠まれたのです。

特選二席 薪神楽果て邯鄲の闇帰る 谷 けい

薪の火が闇を追いやって、幻想的なお神楽が演ぜられました。了つて薪の火が消えると、静かな美しいリズムを奏す邯鄲の闇が帰ってきたのです。追われた闇、帰って来た闇。正に、闇のアンソロジー。魅力的な一句です。

特選五席 月待ちて始まる民話御岳山 林 民江

秋の月は一年中で最も美しい。掲句は、この月の出を待って、御岳山の民話が始まると云う。御岳山には国宝の鼻山重忠の甲冑やら凄いの沢山。民話も沢山あります。その民話の語り、月の出を待って始めると云う。中々凝った演出に、聞き手の待ち遠しい鼓動が聞こえてくるようです。俳句に詠まれた作者の感性見事。

第四十回 奉納俳句募集要項

- 一、作品は未発表に限る
一、受け付けは指定用紙にて投句箱へとする
(郵送等直接の受付は致しません)
一、締切りは 平成二十五年一月十五日
一、発表は 平成二十五年三月中旬